



CQ にいつ

2017年 春号・通算第 206号 発行責任者：新津クラブ会長

おもな内容 & 今後の予定

- ◎ クラブ代表者会議の報告 ◎3月8日 (水) ミーティング：市民会館第3会議室
- ◎ ARISS についての話題 ◎3月26日 (日) **第47回クラブ定期総会**
- ◎ 最新情報&行事報告 ◎4月12日 (水) ミーティング：市民会館第3会議室
- ※ **年間ランキング開催中!** ※**ぜひ、クラブ定期総会に御出席ください。** <m()m>



にいつクラブ各局、こんにちは。

2017年も、皆さんと一緒にハム・ライフを楽しんで行きたいと思います。よろしくお願ひします。
表紙は、クラブの無線機・IC-7200です。ぜひ、皆さん方より、運用して頂きたいと思ひます。
第2回年間活動ランキングも始まっています。ぜひ、ポイントをアップしましょう!
クラブ定期総会も近づいてまいりました。各局、総会でアイボールしましょう。(^^)

ロールコールは、毎週水曜日 20:30~です。(ミーティングのある週はありません)
周波数は 145.22MHz です。

JA0YMP/新津クラブメーリングリストで、情報発信中!

会長の御挨拶

JA0EMS 錦織

新津クラブの皆様、こんにちは。 いよいよ、2017 年がスタートしました。

どうぞ、今年も JA0YMP/ 新津クラブを、よろしく願いいたします。
また、去年は各局より、各イベントに御協力頂きましてありがとうございました。

さて、1月2日～3日にかけて第70回QSOパーティーが行われました。
私は7MHzでの参加でした。残念ながらV・UHFの電波を出すことが出来ず、皆様とはお会い
出来ることは出来ないままです。

相変わらず、私は仕事が忙しく、無線まで手が回らない状況です。
ただ、4月からは多少は無線の時間が取れそうです。

先ず、アンテナの整備、その前にタワーのメンテナンスを
行う予定です。
また、半田ごてを握る機会が極端に減ってしまっているので、
こちらの方も満足出来るような年に出来ればと思っています。



1月1日より第2回年間活動ランキングがスタートしました。1年間の
長丁場です。
是非、いろんな行事に参加をしていただきたいと思います。

2017年が皆様にとってアクティブな年であるとともに、素晴らしい1年であることを
お祈りしつつ、本年のご挨拶といたします。



支部代表者会議の報告



2017年1月21日(土)に開催された、新潟県支部クラブ代表者会の内容です。クラブからはJH00PR / 森田さんが参加され、以下のご報告(メモ書きをまとめたもので議事録ではありません)を頂いています。ありがとうございました。

県支部長

地区研修会について

支部からの補助金は、最大1万円に対応。

予算の範囲内であれば、どんどん地区研修会を開いてくださいとの事です。

移動運用でもアマチュア無線のPR、JARL会員獲得につながるようなものであれば可能のようです。

弥彦山での電波発射実験を行いたい。1991年9月に弥彦クラブが実験運用をしてから25年が経過し、アマチュア無線側、業務局側ともに技術が進歩し性能アップしている。異常がなければ自由な運用を取り戻したい。非常時のことも考慮しています。長野県の横手山では自由に運用を行っている。

信越地方本部長

H29年度予算は、信越は1万円アップし、130万円を計画しています。なお、1万円はガイダンス局と総通との連携運用が増えているので、ガイダンス局運用の経費に入れています。

JARLの5年会員制度を創ったらいかがという提案もあります。正員を3年以上続けると会員の残存率が高いようです。

高校生以下のお試し入会を22歳未満に拡大しました。

各エリアの会員増強→現在、各クラブからのJARLへの入会はないようです。クラブ員を増やしJARLに導くようにして頂きたい。

新スプリアス規格・JARLのスプリアス確認保証の申請が増加することが予想されるため、早めに申請をすませてくださいとスムーズに手続きができるようです。

また、個人情報保護法の改正が施行されます。(この件については別記事で記載しました。)

*)1月のクラブ代表者会で、旧スプリアス適合の無線機で再免許が可能なのかどうかの質問が出ました。これに対して信越本部長からの返答は、再免許は無理なのではないか。使えない無線機で再免許申請をしても総通で再免許にかかる無線機のデータ(無線局事項書および工事設計書)を保存してあるので再免許の時に審査をされる、使用不可能な無線機で免許を発行するとは考えられない。

QSLカードの電子化について

現在の紙QSLカードを電子化する計画です。メール交換のようなものを想像してください。QSLを電子発送し、送信後3か月経過したらJARLのサーバーから消えて残らないようにする、使用する電子ログは『ハムログ』を標準ログとして構築中です。ADIFが使えれば他のログソフトでも可能です。

現在、年間 1000 万枚の紙 Q S L の送料に 2000 万円の送料がかかっています。

ちなみに紙 Q S L カードの数は、H23 年 1100 万枚、 H24 年 1200 万枚、 H25 年 1200 万枚
H26 年 1100 万枚 H27 年 1100 万枚です。

JARL アワードはみなさんすでに取得済のようで、申請がない状況です。したがって、アワード検索の機能は開発費が高くなるので付加しない方向で調整していきます。

なお、日本国内型の Q S L 電子交換システムですので、海外との交換はできません。海外との交換はこれまでどおりビューロー経由となります。

QSO bank の技術には特許がかかっているため利用できません。

2017 年のハム・フェアは 9 月 2 日～3 日です。東京オリンピック開催の前 3 年、後 2 年はいつもの「ビックサイト」会場が使えないので、開催場所は変更となります。

各クラブ紹介

新発田クラブ

クラブ忘年会には 20 名が参加しました。

RTTY について、クラブ員外から問い合わせがありました。このため地区研修会を予定したところ、一番に福島県から申し込みがありました。今後も飲み会を盛んにやろうとしています。

豊栄クラブ

非常通信訓練を実施しました。

見附クラブ

クラブ局の変更申請を出しました。その時に信越総通から、運用する構成員全員の名簿を提出するように指導を受けました。

上越クラブ

構成員 52 名

全体的に高齢化での状況です。上越大会にはみなさんの協力をお願いしたいと思います。

糸魚川クラブ

幸い、年末の大火災で罹災したアマチュア局はいませんでした。

1 月 9 日の地区研修会（オシロスコープの製作）の中止も考えましたが、前を向いてやろうと考えて実行したところ、京都からの参加局もありました。

新津クラブ

昨年移動運用で『アマチュア無線とはなんですか？』と、興味をもたれた一般の見学の方より聞かれました。

今年の移動運用ではクラブ旗の他に目立つようにしてやりたいと思います。

今後、地区研修会で何かやってみたいです。

新井クラブ

防災訓練に参加しました。

FM ラジオの製作講習会を実施しました。一般の方を含め、11 名の参加者がありました。

弥彦クラブ

会員獲得の景品の桃太郎旗（アマチュア無線局運用中）を各地域クラブに一枚配布してもらいたい。

ARISS スクールコンタクトについて

JHØOPR / 森田

2016年3月期のクラブ総会も終わり、その夜の混信会（懇親会）席上、参加者の間で若い世代をアマチュア無線家に育てようという話になり、ARISS スクールコンタクトと養成課程講習会開催の話になりました。

- ① 子供たちに科学技術に興味を持ってもらう、またアマチュア無線を世間に知ってもらうチャンスで ARISS スクールコンタクトをやってみてはどうか？
- ② 養成課程講習会は定員が埋まる人数が確保できるのであればやってみてはどうか？

特に①のスクールコンタクトはぜひやってみたいとの希望が出ました。

成功するかどうかわからないが、とにかく実現に向けて動き始めたい。

みんなで協力するのでやりましょう。強い希望が出ました。

そこで錦織会長にお願いして、有志ですがスクールコンタクトをやりたいとのことで総会は終わっていますが新津クラブの名前と会長名を使用させてください、とお願いしたところ、了承をいただきました。

…ARISS スクールコンタクトとは何か？…

ARISS スクールコンタクトは、アマチュア無線（145MHz帯）を利用して、地上約400kmの高度を周回飛行する国際宇宙ステーション（ISS）に常駐する宇宙飛行士と子供たちが交信する宇宙通信のことです。

米国航空宇宙局（NASA）の青少年向け教育プログラムの一つとして実施されています。

それゆえに地域の教育委員会の推薦状が必要になりますし、スクールコンタクトに参加申し込みができるのは学校等、教育機関からのみです。

アマチュア無線家は設備、運用の支援ボランティアとなります。

電波行政を管轄する総務省もARISSスクールコンタクトを後押しするために特別法を作り電波法を改正しました。特別局を開設してISSと交信する場合に、第1級、第2級アマ技士以上の無線従事者を特別局のコントロールオペレーターに選任し、その指示に従って交信するばあいに、小中学生にかぎり、無線従事者免許証がなくてもアマチュア無線を利用してのスクールコンタクトに参加できるというものです。

この特別法を利用してISSと交信し、ARISSスクールコンタクトを通じて、電波を取り扱う場合の電波法令、無線技術、宇宙についての知識、ロケット技術、英会話などについて勉強し、将来の科学技術に興味を持つ青少年を育成しようとするものです。もちろんアマチュア無線に興味を持ってもらうのが第1です。

ISSの速度は 7.6km/s の非常に高速で飛行しており、地上から交信できるのは概ね 9～10分間前後です。

このISSが通過する時間内で小学生、中学生が宇宙飛行士に質問し、それに対する返答をもらうものです。日本人宇宙飛行士がISSに搭乗していると日本語での交信ですが、日本人が搭乗していない時には英語での交信となります。

スクールコンタクトへ交信希望を申し込んで、受理されて実際に交信できるのは概ね1年後となります。この約1年間の待機期間に上記の学習会を開催し、報告書を提出しなければ特別局の無線局免許状は発行されません。総務省は科学技術の振興と同時に、子供たちに電波法を勉強してもらい将来の違法無線電波を減らそうと考えています。

これまでの日本国内でのISSとの交信は約90例ですが、新潟県内からの交信は0件です。ハードルの高いイベントになります。特に関西エリアでの交信数が多いですが、これは各県支部の役員等が音頭をとってプロジェクトチームを作りARISSスクールコンタクトを実施しているためです。宇宙飛行士との交信に成功した子供たちは、緊張のなかにもキラキラと瞳を輝かせ、交信の会場には感動と拍手に包まれているのです。また地域住民から実施団体に対して、実施してもらってありがたいの声をもらって感謝されているところもあります。

新津クラブ有志では日本のアマチュア無線界を代表する社団法人の地方一組織として、多くの子供たちに感動を与えるべく、このARISS スクールコンタクトを秋葉区内で、あるいは近隣地区で小学校、中学校、または公民館での開催ができたかと考えています。

次期総会でクラブの正式行事として承認してもらえれば幸いです。

養成課程講習会情報

またハムフェア 2016 会場にて JARD の養成課程講習会について質問したところ、定員 15 名でも可能。定員割れをして 9 名しか参加申し込みがなかった場合でも中止にせず開催しています。以前に講師、管理者の経験者がいればその登録番号を教えてもらえれば今でも有効かどうか調べます。とのことでした。

本の英進堂へ電波社発行の季刊誌『Ham World ハムワールド』（12/15 発売）を購入しに行ったがすでに売り切れていました。本を発注して帰宅しましたが、どなたが購入したのでしょうか？ 気になるところです。アマチュア無線家でしょうか、もし本屋でハムワールドを眼にしてアマチュア無線に興味を持ってくれた新しい方が購入していたら嬉しい限りです。

講習会を実施しているハムショップの情報では、過去のようにすぐ定員に達することはないが、少ないなりにもコンスタントに申し込みがあります。また、非常に遠距離からの申し込みがあるそうです。たとえば、大阪の講習会場では九州からの申し込みが、新潟の講習会場では静岡からの応募があったそうです。遠距離の受講者は夜行バスなどを利用して受けにくるそうです。また親が車を運転し親子で受講して帰るのもあるとのこと。少しはアマチュア無線の低落傾向に歯止めがかかりつつあるのでしょうか。

モバイルハムを発行していた電波社が、ハムワールドの発行を決定したのもアマチュア無線の人气が横ばい、あるいは少し上向きに反転したと判断をしたのだということではないでしょうか。

JARDの新スプリアス確認保証について

旧スプリアス基準の技適証明を受けた送信機を使用する開局申請、増設の変更申請の可能な期限がせまってきました。平成29年（2017年）の11月30日、今年がその期限です。

JARDが実施している旧スプリアス基準の技適証明の送信機について、新スプリアス基準に適合していることの証明を行う、『スプリアス確認保証』はこの平成29年11月30日までに免許されている送信機に対して行うものです。

この期限までに免許されている送信機について、JARDが新スプリアス規格に適合しているとの『スプリアス確認保証』を行い、総合通信局に『スプリアス確認届』を提出すれば、平成34年（2022年）12月1日以降も使用可能となります。

『スプリアス確認届』を総合通信局に提出しなければ、旧スプリアス基準の送信機の使用期限は平成34年11月30日までです。

とにかく旧スプリアス基準適合送信機については平成29年（2017年）の11月30日までに免許を受けておきましょう、そうすれば期限後でもJARDの『スプリアス確認保証』を受けて引き続き使用が可能となります。

自分で技適証明を取得したい場合には『無線機器の電波測定サービス』を利用して技適番号をもらう方法もあります、この場合には1台、1台に個別の技適シールが貼付されます。技術に強いアマチュアは旧技適証明を捨てて、新技適証明を取得している方もいます。

なお、『スプリアス確認保証』は免許人がすでに免許を受けている送信機に対して保証するものであり、保証を受けた送信機を他人に譲渡した場合には『スプリアス確認保証』は無効となります。新技適証明を新たに取得した送信機は他人に譲渡してもそのまま新技適証明は有効で、譲渡受け者はその技適証明番号で開局、増設申請することができます。

個人情報保護法の改正についてのお知らせ

個人情報保護法の改正法が平成27年9月9日に公布されました。事業者の義務に関する主要部分は平成29年9月8日までに施行されます。

改正点は5,000人以下の個人情報を取り扱う事業者は対象外とされていましたが、この条項が廃止されました。

したがって、法人に限定されず、営利か非営利かも問われないため、個人事業主やNPO、自治会、町内会、サークル等の非営利組織であっても『個人情報取り扱い事業者』となります。

新津クラブ員名簿の作成においても、利用目的を明示し名簿に掲載する個人の同意が必要になります。今後、クラブ名簿作成時に、その旨を説明・同意を頂きたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

2017年 第2回年間活動ランキングのご案内

2016年に初めて実施しました年間ランキングを12月31日に締め切りました。
現在、集計作業を始めて いるところです。

さて、2017年1月1日から12月31日の期間で第2回年間ランキングを実施します。
ロールコールやミーティングにこつこつ参加して得点を稼ぐ、あるいはコンテストで頑張っ
て、得点を稼ぐ等、 いろいろな活動があります。
みなさんのスタイルに合った方法で、是非参加してください。

今まで以上にクラブの各行事にふるってご参加ください。
なお、**赤字のものが2017年の変更点**です。

コンテストの点数に差をつけました。普段、ミーティング や
ロールコールに参加出来ない方はコンテストで頑張ると、
上位に食い込めると考えました。



1 名 称 第2回年間活動ランキング

2 開催期間 2017年1月1日から2017年12月31日

3 得 点 以下のコンテストや行事に参加した場合に得点を与え、年間の得点の合計で競う。

(1) コンテスト JA0-OSO 参加した場合は**20点** クラブ内 **1位…50点**
2位…40点 3位…30点

JA0-VHF 参加した場合は **20点** クラブ内 **1位…50点 2位…40点 3位…30点**

QSO パーティー 参加した場合は **20点**

YMP マラソンコンテスト 参加した場合は **20点 1位…50点 2位…40点 3位…30点**

(2) 行 事

ミーティング 10点 ロールコール 10点 クラブ企画の移動運用 10点
有志での YMP の移動運用 10点 記念局運用 30点 さんまの会 10点
支部大会 30点 地区研修会 30点 忘年会 10点 定期総会 30点
総会後の懇親会 10点

CQ ham radio に掲載されました!

昨年の6月に開催しました、クラブ移動運用の写真が「CQ誌」2017年1月号のローカルトピックスに掲載されました。

当日での、楽しかった時間を思い出しますね。

今年の移動運用をお楽しみに!

また、今年の各イベントで、お会いしましょう!



2017 マラソンコンテスト、参加いただいた各局へ

恒例の「にいつクラブマラソンコンテスト」ご参加頂きました各局へQTCです。

申請書類——ログの写し、又はログシートを3月のミーティングまでに役員までに提出してください。

にいつクラブ第2回年間活動ランキングが始まっています。

第1回の順位は現在、集計中です。お待ちください。

第64回信越アマチュア局非常通信コンテスト (JA0-OS0 コンテスト)

日時 4月8日(土) 21:00~9日(日) 12:00JST 時報まで

参加資格 JA0エリア在住の同エリア内で運用するアマチュア局

第54回 JA0-VHF コンテスト

日時 5月8日(土) 21:00~9日(日) 12:00JST 時報まで

コンテスト規則など詳しい事は、JARL 新潟支部のホームページをご覧ください。

<http://www.jarl.com/niigata/index.html>

新津クラブ編集後記

アマチュア局の、コールサインの話題です。現在のエリア別・付与状況です。(個人局)

関東・JJ1BVA(再割当)、東海・JS2CTB(再割当)、近畿・JP3QUR(再割当)、中国・J04ILM、

四国・JJ5NMP、九州・JE6SVU、東北・JP7RBV、北海道・JM8KJE、北陸・JH9QHV、信越・JJ0TVL、

沖縄・JS6TSK、小笠原・JD1BPI

さて、1エリア(関東管内)の付与の話ですが、最初は JA1、JH1、JR1、JE1、JF1、JG1、JI1、JJ1、JK1、JL1、JM1、JN1、JO1、JP1、JQ1、JS1 と発給されて、再び JE1~ JS1 が再割り当てされ、次はご存知、数字の7で始まる 7K1、7L1、7M1、7N1、7K2、7L2、7M2、7N2、7K3、7L3、7M3、7N3、7K4、7L4、7M4、7N4 の発給が行われ、現在、JA1、JE1、JF1、JG1、JH1、JI1、JJ1 と2度目の再割り当てが進んでいます。すごいですね。(^-^);

第47回にいつクラブ定期総会は 3月26日(日)です。

各局、総会で会いましょう。場所、時間については後日、連絡します。

お忙しいかと思いますが、各局、ご出席をお願いします。定例の反省会もあります。

CQ にいつ

にいつクラブホームページ <http://www.ja0ymp.net/>
がそうけいじばん 画像掲示版もよろしくね!!